



電子情報通信学会 ヒューマンコミュニケーショングループ (HCG)  
 ニュースレター (2016年度 No.1)  
<http://www.hcg-iceice.org/archives/newsletters/>



～ 目次 ～

- ◆2016年度運営委員長からのご挨拶
- ◆FIT2016 (第15回情報科学フォーラム) 開催のご案内
- ◆HCGシンポジウム2016への投稿のご案内
- ◆研究会活性事例 (CEA)

2016年度運営委員長からのご挨拶

委員長  
 竹内勇剛 (静岡大)

ヒューマンコミュニケーショングループ (HCG) は現在、いくつもの難しい判断を迫られる厳しい状況にあります。例えば、近年の電子情報通信学会全体の会員の減少に伴う収入減のために、学会の財務体質の改善の一環にも通じる技術技報 (研究会予稿集) の電子化と、それに連動した形での研究会への参加有料化に関する議論はかなり現実的なものになってきています。

これまで発足当初よりHCGは「サロンのような異分野間交流の場」や「人間とICTとの調和を希求する研究集団」などの意識のもと、ここに集うさまざまな分野・領域の研究者が自由な議論を行える場やコミュニティを提供することをそのレゾナードールとしてきました。しかしこれらの環境を今後も維持しさらに推し進めていこうとすれば、HCG自身が周囲の状況の変化に対して受け身で臨むのではなく、主体的に自らを変革していかななくてはならないでしょう。

そこで今年度はその具体的な取り組みとして、HCG内に独自の「編集委員会」を常設的に設け、「ヒューマンコミュニケーション論文特集号」(和文論文誌AおよびDで交互に毎年企画しています)の一貫性のある企画・編集活動や、質の高い査読・編集作業を遂行するための担当者育成のためのチュートリアル、HCG会員を対象とした論文執筆チュートリアルなどの活動を継続的に実施できる体制を整える予定です。このような取り組みを通して、HCGにおけるヒューマンコミュニケーション研究の活性化と質の向上を積極的に行い、HCGが国内のヒューマンコミュニケーション研究およびその関連研究の中核として多くの研究者が集い交流するコミュニティへと発展させていくことを目指してまいります。また特に若い研究者の育成に対して、組織的に支援する環境づくりも非常に重要であると考えています。

上述のようなHCG自身の主体的な変革は、一部の人たちだけでは達成することは不可能です。これらを実現するためには、多くの方々のご理解とご協力が必要で、また皆様に対して一方的にお願いするだけの関係であってもならないと思います。個人の立場であっても各研究専門委員会としての立場であっても問いません。是非皆様からの忌憚のないご意見をお寄せいただくと共に、一緒に取り組んでいける課題があればそれを共有してまいりたいと思います。

最後に今年のHCGシンポジウム2016 (12/7～9) は高知市文化プラザかるぼーとで開催します。すでに発表申し込みも始まっています。お知り合いの方で、まだHCGシンポジウムには参加したことがない方がいらっしゃいましたら、その方をお誘いになってHCGの仲間になってください。皆様と共にヒューマンコミュニケーション研究の輪を密度濃く広げていきたいと願っております。どうぞよ

ろしくお願いします。

FIT2016 (第15回情報科学技術フォーラム) 開催のご案内

HCG企画幹事  
 吉田寛 (NTT研究所)

電子情報通信学会 (ヒューマンコミュニケーショングループ、情報・システムソサイエティ (ISS)) および情報処理学会 (IPJS) が共催する、FIT2016 (第15回情報科学技術フォーラム) の開催をお知らせいたします。今年度は、富山大学において開催されます。

- ・会場：富山大学 五福キャンパス
- ・会期：2016年9月7日(水)～9日(金)

最新情報につきましては下記をご覧ください。  
<http://www.ipsj.or.jp/event/fit/fit2016/>

情報処理学会 (IPJS) と電子情報通信学会情報・システムソサイエティ (ISS) 及びヒューマンコミュニケーショングループ (HCG) との合同で開催致します本フォーラムは、IPJS全国大会とISSソサイエティ大会との流れを汲むものですが、従来の大会の形式にとらわれずに新しい発表形式を導入し、タイムリーな情報発信、活気ある議論・討論、多彩な企画、他分野研究者との交流などを実現することで、2002年から毎年継続して開催しております。

情報技術分野における顕著な業績に対して贈られるFIT2016船井業績賞は、「初音ミク」の生みの親である伊藤博之氏 (クリプトン・フューチャー・メディア) の受賞が決定しており、受賞記念講演が9月8日(水)に予定されています。

なお、一般講演の応募論文からは、船井ベストペーパー賞とFIT論文賞が選定されます。また、以下のような情報科学技術に関する様々なテーマの学会・研究会企画によるイベントが開催されますので、是非ご参加下さい。今年は、船井業績賞記念講演に関連し、映像、メディア関係のイベントが特に充実しております。

【9月7日(水)】

- ・8K試験放送開始！実用化が進むマルチメディアトランスポートの最新状況と展望
- ・PoTS映像学事始め
- ・パターン認識・メディア理解の技術が教育・学習支援にどのように活かせるか
- ・ここから始まる情報処理～画像、音声、テキスト、検索、学習、いっきにまとめてチュートリアル～

【9月8日(木)】

- ・FIT2016 船井業績賞受賞記念講演
- ・「初音ミクは、なぜ世界で支持されるのか」伊藤博之
- ・未来のICTリーダー 学生対企業対談 ～決意・意欲と期待・激励～
- ・ソーシャルビッグデータの利活用によるオープンスマートシティの構築
- ・10年後も情報科学技術者であるために

【9月9日(金)】

- ・助教が吼える！ 各界の若手研究者大集合
- ・Python によるデータ分析 - 分析の基本とデータ分析コンペでの実践
- ・ポストムーア時代の計算プラットフォーム
- ・小直径グラフの追求～グラフ理論の未解決問題とインターコネクットの未来～

